

だより



2023.NO
144



目次

- ・第1回定例会・臨時会…………… 2～4
- ・一般質問一覧…………… 5・6
- ・一般質問…………… 7～14
- ・総務建設常任委員会報告…………… 15・16
- ・厚生文教経済常任委員会報告…………… 17・18
- ・議会構成…………… 19
- ・議長・副議長挨拶／議会の動き…………… 20

令和5年

第1回

定例会

令和5年度当初予算を可決

一般会計予算

60億4,982万7千円

(前年度比12.7%減)

— 町長選を控え骨格予算 肉付けは6月補正予算で —

令和5年第1回定例会は、3月7日から15日までの9日間の日程で行われ、令和5年度各会計当初予算6件のほか、令和4年度各会計補正予算5件、条例改正等18件、人事案件1件、議員発議の条例案1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。

令和5年度の各会計当初予算は、初日に町長から提案理由の説明があり、8日から13日(11・12日は休会)の4日間、総務建設・厚生文教経済の2つの常任委員会による調査、15日に各常任委員会の調査報告のあと質疑・採決を行い、いずれも原案のとおり可決した。

令和5年度の各会計の予算総額は、89億9,981万8千円(うち一般会計予算60億4,982万7千円)。本年度は町長選を控え骨格予算編成となったため、前年度に対して8億9,296万3千円(9.0%)減となった。

なお、今回の一般質問には、9人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例改正等

- ① 錦町個人情報保護法施行条例
- ② 錦町情報公開・個人情報保護審査会条例
- ③ 錦町情報公開条例等の一部を改正する条例
個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、改正等を行うもの
- ④ 錦町議会の個人情報の保護に関する条例
個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、議会における個人情報の保護に関する条例を制定するもの(議員発議)
- ⑤ ふるさと錦寄附条例の一部を改正する条例
ふるさと納税事業における基金への積立額の算定方法を改正するもの
- ⑥ 錦町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例
法人格を持つ公共団体に限定していた普通財産の無償貸付又は減額貸付ができる対象を、公共的団体においても同様の取扱いが出来るよう改正するもの
- ⑦ 錦町災害見舞金の支給に関する条例の一部を改正する条例
建物被害による見舞金に加え、亡くなられた方へも弔慰金を支給できるように改正するもの
- ⑧ こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
「こども家庭庁」の新設と「関係法律の整備に関する法律」により影響を受ける関係条例を改正するもの

⑨ 錦町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

児童福祉施設の整備及び運営に関する基準、懲戒権に関する規定の削除に伴う児童福祉関係府省令及び学校、児童福祉施設等におけるバス送迎の安全管理の徹底に係る関係府省令の一部改正に伴い改正するもの

⑩ 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令等の一部を改正する政令に伴い、出産育児一時金を増額するため改正するもの

⑪ 錦町営住宅管理条例の一部を改正する条例

町営住宅浄化槽使用料について、公の施設の使用料として一定額を定めるため改正するもの

⑫ 錦町給水条例の一部を改正する条例

民法等の一部を改正する法律の改正に伴い改正するもの

その他

① 町道山江錦線（木綿葉大橋）上部工補修補強工事（2期）請負変更契約について

契約金額

変更前 2億9千920万円

変更後 3億3千187万3458円

契約の相手方 人吉市西間上町

810番地1

三和建设株式会社

② 水無川橋旧橋台解体撤去工事請負変更契約について

契約金額

変更前 7千370万円

変更後 8千308万5117円

契約の相手方 人吉市西間上町

2479番地1

丸昭建設株式会社

③ 水無川橋上部工工事請負契約について

契約金額 1億2千210万円

契約の相手方 福岡県北九州市

若松区大字安瀬62番地3

松田建設工業株式会社

④ 平岩地区農業用施設災害復旧工事（本復旧工事）請負契約について

契約金額 7千337万円

契約の相手方 熊本市南区近見

8丁目14番1号

株式会社ドゥプロジェクト

⑤ 熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について

⑥ 人吉球磨広域行政組合規約の一部変更について

令和5年4月1日から人吉球磨広域行政組合議会議員数並びに構成市町村から選出される議員数を減ずる改正を行うための関係

市町村議会の同文議決で、30人を23人に改めるもの。（錦町・多良木町は各々1人減で2人に、人吉市は3人減で5人に、あさぎり町は2人減で2人に改正。）

⑦ 錦町立人吉海軍航空基地資料館の指定管理者の指定について

指定をする団体等の名称及び事務所所在地

一般社団法人 錦まち観光協会

錦町大字木上西2番地107

管理を行わせる期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

人事案件

錦町固定資産評価審査委員会委員の選任について

住所 錦町大字木上北

1928番地2

氏名 簗田 清男

令和5年第1回臨時会

令和5年2月3日に行われ、令和4年度一般会計補正予算、令和4年度錦町下水道特別会計補正予算の2議案が上程され、いずれも原案のとおり可決した。

なお、補正の主な内容は、出産・子育て応援交付金事業、ふるさと納税事業、林地崩壊防止事業、台風14号被害による農地・農業用施設・林業施設等の災害復旧など。

令和5年第2回臨時会

令和5年3月30日に行われ、令和4年度一般会計補正予算の外、令和5年度一般会計補正予算などの7議案が上程され、いずれも原案のとおり可決した。

なお、令和5年度一般会計補正予算は、西小学校増築事業に伴う設計委託料。

条例改正等

① 錦町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

政令改正に基づき所要の改正を行うもの

令和5年第3回臨時会

4月23日の一般選挙後、初めての臨時会が、令和5年5月11日に行われ、議長及び副議長選挙の後、各常任委員会委員、議会運営委員会委員等の選任等の他、令和4年度一般会計補正予算、令和5年度一般会計補正予算などの4議案が上程され、いずれも原案のとおり可決した。

なお、補正の主な内容は、住民税が非課税となる子育て世帯への臨時特別給付金事業、木上ひかり保育園への施設整備補助金、英検受験対策をはじめとする英語科学習支援を目的として本町独自で実施する錦中学校の生徒を対象とした**錦未来塾事業**など。

また、任期満了を迎える熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員には、森本完一町長が再選された。



錦未来塾とは（教育振興課作成パンフレットから抜粋）

錦町の子育て世帯の経済的な理由や時間的な理由により、塾に行きたくても行けない状況を改善し、子どもたちの学力及び学習意欲の向上を図ることを目的として設立。

今年度は、錦中学校生徒の英検（日本英語検定協会）受検者を対象に、合格を目指した受験対策を実施するものです。



経験豊富な講師

- 英検の級別にクラスを分けて行います。
- 錦町・人吉市在住の塾講師や退職職員による指導をします。
- 面接官が外国人の可能性もある二次試験を考慮し、二次試験対策は錦町 ALT が協力します。

受講料は無料

- 塾に係る費用は教育委員会が負担しますので受講料は無料です。
- 中学校の教室で、部活動のない水曜日の放課後に行うので、塾への送迎もありません。
- 塾は15:35～16:35（60分）で、その後、個別質問等にも対応（20分）します。

詳しくは…錦町教育委員会教育振興課 ☎ 38-4450

第1回定例会一般質問事項一覧①

議員名	質問事項	質問の要旨
右田議員 (P 7)	勤労者体育センター改修計画について	①改修は全体か部分的か。 ②空調設備を計画出来ないか。 ③事務所に職員配置は出来ないか。 ④北側通用口にバリアフリーの整備は出来ないか。
	平成21年度提唱の「健康づくり日本一」に向けた取り組みを検証	①過去3回(H25.12、H27.12、H30.6)一般質問を行っているが、その後「これは」と力説できる取り組みはあるのか。 ②過去の質問で、町民全員の健康チェックや地域主導型の健康づくりモデル分館の設置を提言したが、検討にも至らなかったか。 ③健康面で日本一と言って解りやすいのは、市町村間において年間医療費が低いとかであろうと思考するが、これらを以って目標達成は至難であろう。 そこで、目標を細かく絞り込み、例えば本町は特定健診の受診率が県内においても高く、また、受診者に対する保健師によるアフターフォロー、この点は他市町村よりも突出していると思うので、これらを更にアップし健康づくり日本一と定義づけることは如何か。
石松議員 (P 8)	ふるさと納税の事務経費のあり方について	①錦町の返礼品の状況とポータルサイトの利用状況について。 ②ポータルサイト料金は。 ③令和3年の錦町の経費と内訳は。 ④委託業者の選定基準および経費削減の対応は。 ⑤目的別内訳の現状について。 ⑥人吉海軍航空基地ミュージアムでのふるさと納税の使用について。
	農業振興にかかる農家支援について	①農家への町独自の支援は。 ②タバコ共同乾燥室への支援について。 ③機械導入に対しての支援について。
守永議員 (本人の申し出により掲載なし)	人口減少、高齢化が進む中での本町が目指すこれからの政策はどうあるべきか？	※第2期にしき・まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直し、検証。 ①ひと ・2025年問題を前提とした医療費増加及び老人福祉対策は？ ・生きる力を育む教育の実情及び進学者の支援について。 ②しごと ・働く場の確保の現状と課題は？ ・小農の推進による自給自足の振興は？ ③まち ・コンパクトシティ構想に係るランドデザインの取り組みは？ ・地域コミュニティが機能していない住民活動の再生をどうするのか？
早田議員 (P 9)	関係人口構築の為の保育園児、短期留学受入れ制度導入の提案について	①関係、交流人口への今後の方針は。 ②町が管理する住居用施設の空き状況は。 ③保育園児短期留学受入れについて。
	新卒者、地元企業への就職支援策について	①地元企業への就職支援策はあるのか。 ②中学生の地元企業見学会を開催しては。 ③就職奨励金制度を新設しては。

※要旨…質問についての詳しい質問

第1回定例会一般質問事項一覧②

議員名	質問事項	質問の要旨
藤川議員 (P 10)	「球磨大橋」の復旧について	①「仮橋」の開通見込みは。 ②「本橋」の計画は。
	町長の政治姿勢について	①森本町政4期16年の総括と今後の町政のあり方を問う。 ②「学校給食無償化」に向けての取り組みの方向性は。 ③「川辺川ダム問題」について。 ④「求償裁判問題」について。
吉田議員 (P 11)	住民の安心安全と防災について	①国道219号西地区の植樹、歩道への繁茂対策は。 ②野間川堤防、災害時の緊急道路として舗装の考えは。 ③錦湯前線あさぎり町と錦町境界の錦町への越水対策について。
	子育て世代支援と燃油上昇対策について	①新学期からの学校給食費は（給食無償化）の考えは。 ②「火の国もりあげタイ」地域の（まちづくり）や（まちおこし）の応援を行うとある。どのような計画があるか。 ③光熱費、燃油上昇対策に暖炉導入補助の考えは。
	農業の振興、山と川を守るについて	①今後の集落の農業、農地を守り維持していく対策は。 ②煙草共同乾燥組合への電気代、燃油代、酪農家、畜産農家へのさらなる支援の考えは。 ③南部農道、のり面モルタル吹付はできないか（部分的に）。 ④水無川、曲谷川上流の堆積土砂樹木保護対策、荒廃対策、農家の水の確保と合わせて誘致企業への間伐材、林材支援の考えは。
池田議員 (P 12)	道の駅裏の耕作放棄地の利用について	①全体の農地面積と耕作放棄地の農地面積。 ②今後拡大していく可能性の高い耕作放棄地を道の駅と一体とした公園化及び避難所としての考えは。
	町民の声より	①個人情報保護法の取り扱い、特に、火災時の緊急放送の在り方は。 ②木上蔵城公園の散歩コースの要望書について。
竹田議員 (P 13)	リフォーム補助金と錦町プレミアム商品券の今後について	①リフォーム補助金平成25年～現在までの補助金件数、交付額は。 ②リフォーム補助金、あと1年で終わるが、今後の継続は。 ③錦町プレミアム商品券の発行計画は。
	町道、国道の側溝の悪臭について	①側溝の悪臭について知っているのか。調査したのか。 ②飲食店の動植物油の流出について調査、指導は。
	錦町西地区の球磨村仮設住宅の今後の利活用について	①錦町として、どうするのか。 ②町営住宅としての考えは。 ③町営住宅にお住まいの方の移行調査は。 ④今後の利活用は。
荒川議員 (P 14)	行政区（分館）の体育行事合同化について	①本町の体育行事はほとんどが分館対抗となっている。だが、世帯が多い分館、少ない分館と世帯数が大きく違う。このままでいいのか？
	町長の4期目マニフェストの検証	①6項目：達成率と課題について。

※要旨…質問についての詳しい質問

一般質問

今回は9人が登壇(要約掲載)

町政のことが聞きたい!

勤労者体育センターの改修計画に期待

右田 勤労者体育センターも築後40年を経過しているが、町の行事や学校の部活動など利用頻度が高く、

所期の目的は十分果たしている。そんな中、今般改修計画が予定されているが、改修は全体的か部分的か。

教育振興課 現段階では、改修の方法等決定はしていない。今後、業者



右田 宣之 議員

右田 改修の際、空調設備を計画できないか、私は、以前一般質問において、毎年11月寒い中で開催される文化祭を考慮し本町にも文化施設を計画できないかと質問をしたが、答弁として、箱物は多額の経費を伴うので困難ということであった。この種の施設で山江村の体育センターは指定避難所ということもあって、空調設備が整備されている。本町においても、改修を機に是非、空調設備ができないか。

教育振興課 近年、管内の町村においても体育館に空調設備が整備されており、町のスポーツ行事や中学生の部活動のほか災害時の避難所としても利用され利用頻度の高い施設であり、整備は必要な時期と思われるので今後計画したい。



築後40年の勤労者体育センター

室もあり利用者の利便性を図るためにも体育館で事務処理ができるよう配慮願えないか。併せて年間どれ位の使用申請者があるのか。
教育振興課 職員配置の件、費用対効果の面を検討する必要があるものの非常にありがたい提案と捉える。今後利用者の方の利便性の点からも十分検討したい。令和4年度中の申請者件数は241件となっている。

右田 体育センター北側通用口は東西にあり西側にはバリアフリーを整備してあるが、東側には昇降階段となっており、特にコロナワクチン集団摂取の際、出口が北側通用口の東側であったため、階段が高く降りる際、高齢者の方が大変苦労されていたようであるので改修の際検討を。

教育振興課 今後は、階段に手すりを設置する予算を確保し実施したい。

右田 次に、事務所に職員の配置はできないか。現在、社会体育施設の体育館、武道館、グラウンド等の使用願いは、庁舎3階の教育振興課に出向き使用許可を得ている状況で、利用者側としては煩わしさがあるよ

ふるさと納税の事務経費のあり方は



石松 まゆ子 議員

石松 平成30年度のふるさと納税寄附収入は8千527万のうち4千661万が自主財源につなげているが、令和3年は4億1千500万に對し、1億7千300万円であり非常に経費が多くなっている。これは、インターネットサイト仲介事業者や事業委託に係る費用など、返礼品以外に係る経費の割合が増加していると考える。経費総額は5割以下となっている。自治体の中には5割を超えているところもあり、超過が続けば国が指定を取り消すとされているが、錦町の現状は。

企画観光課 国が示す募集適正化基準に準じている。募集に要する経費の総額は、経費を除き約1億6千万円(47.9%)と国に報告している。

石松 該当しない受領書や申請の事務にかかる費用が8千6百万円となる。該当しない経費が多いのではないかと。確認を十分にし、適正な会計処理をしながらふるさと納税の取り消しが無いよう進めてほしい。また、費用の圧縮も視野に入れて事業者の整理も必要と考えるが対策は。

企画観光課 運送事業者や委託業者との交渉を行い、委託料率を下げることによって経費削減をしている。今回提案があったポータルサイトの業者を絞ることも検討し、費用対効果を考慮した効果的な運用を進める。

石松 ふるさと納税の使い道として、町長が目的達成のために必要と認めた事業に利用するとされる金額が1千700万円から今1億2千180万円である。どのような目的のために必要と認められるのか。

町長 過疎債も使われない厳しい財政状況の中で、しっかり考えながら福祉の向上の目的のために使う。

農家への町独自の支援は

石松 ウクライナ情勢や円安・原油高による物価高騰が続く、農家経営は今非常に厳しい。ビニールハウスやマルチ用ポリの資材高騰支援、畜産農家の持続的な支援、光熱費の高騰によるたばこ共同乾燥施設への支援は、農業振興に有効と考える。安定した農業ができるよう町独自の支援の考えは。

農林振興課 国の経済対策やコロナ臨時交付金を活用して実施する。

石松 国の補助金はポイント制になっており、認定農家でも補助事業の対象にならない。特に中堅農家には補助金がない。高額な機械導入に対し、半額補助など町独自の支援の考えは。

農林振興課 一部の機械導入は単独で支援しているが、基本的に国・県の制度の活用を軸に支援していく。



光熱費の高騰が続く (たばこ共同乾燥施設)

保育園児短期留学制度の 提案について

早田 本町の関係人口、交流人口を増加させるため、今後の方針は。

企画観光課 これまでのチャレンジシ

ヨップ事業やふるさと住民票制度を継続していくことで、関係人口を増加させ、つながりを保つと共に、町の活性化にも関わってもらおうなど、関係強化を目指していく。

また、関係人口の創出においては、顔が見える関係が大事であることから、本町にゆかりのある方々との交流



早田 和彦 議員

を行う「にしき会」を来年度、熊本市内及び東京都内で実施することで、都市部からの関係人口の増加を図りたいと考えている。

早田 ふるさと住民票と、「にしき会」の説明を。

企画観光課 ふるさと住民票は、本

町と関わりを持たれる町外の方々を対象に、ふるさと住民として登録いただき、継続的なつながりの構築や関係強化を図り、将来的な移住・定住やふるさと納税の寄付に繋げる取組みとなる。「にしき会」は、将来的な移住・定住に繋げることを目的に、本町ゆかりの方々による交流会を実施するもので、「東京錦会」「熊本錦会」の2つを実施に向けて準備を進めている。

早田 保育園児短期留学制度の提案については。

住民福祉課 関係人口構築のための

施策の一部として、現行制度での対応は可能であると思う。利用者の利便性をどれだけ高めるかは、今後、関係人口構築のための施策を総合的に検討する必要がある。

早田 中長期的な関係人口を創出できる未来の子育て・町づくりの仕組みとして、実現をお願いしたい。



保育園児短期留学受入れ可能施設

就職奨励金制度を新設しては

早田 若年層の流出が地方の疲弊につながる。就職率のアップと、若者の地元定着率を図るために、就職奨励金制度をつくってはどうか。

企画観光課 町の補助制度、国の施

策等の関連もあるが、奨励金制度の導入に関しては、慎重に議論する必要があると考える。ただ奨励金制度も含め、何らかの就職支援策を講じることが、貴重な人材が人吉球磨管外に出ていく割合を減らす相当な効果は期待できると考えている。

早田 誘致企業もあるので、管内を先んじて対策を講じていただきたい。

町長 色々な提言を頂きありがたい。今後については、しっかり検討をしていく必要があると思っている。

森本町制4期16年の総括と 今後の町政のあり方を問う！



藤川 喜一 議員

藤川 森本町長は平成19年・町長就任以来4期16年の長きにわたり町政を担ってこられ、まもなく4期目の任期満了となる。基本理念とされてきた「人の和を大切に、老いても安心して暮らせる町、若人に夢と希望の持てる町」のマニフェストの達成率・実現度・満足度について、どのように捉えておられるか。

町長 皆さんのおかげを持って4期を務め上げる段階まで来た。特に4

期目はコロナがあったり大水害があったりと思うように出来なかった部分もあるがそういう状況にあっても議会の協力を頂きながら自身としては満足点とまではいかないが、近いような実績を残せたと思っている。

藤川 評価は町民それぞれ分かれている。森本町長は既にいち早く昨年の12月に5期目の立候補を表明された。今後の町政の方向性についてはどのように考えているか。

町長 この件については、この場でのコメントは差し控えさせていただきたい。

「学校給食無償化」に向けての取り組みの方向性は。

藤川 「学校給食無償化」への取り組みの必要性については何度も一般質問で取り上げてきた。その間無償化に向けての様々な取組みがなされ平成29年度から第二子以降の半額補助から始まり令和2年度からは全児童生徒を対象に一律月額二、〇〇〇円補助となり、令和4年4月からは一律半額となり10月からは全額補助無償化となった。今年度の当初予算（骨格予算）には4月から6月までの3ヶ月分のみ一、二八六万四〇〇〇円が計上されている。子育てに伴う経済的負担軽減支援策として大変重要と考える。近隣町村でも無償化に踏み切る自治体が増えている。（山江村・水上村は8年前から、本年度から相良村・五木村・球磨村）今後7月以降も無償化を継続するべきと思うが、今後7月以降も「無償」を継続する意向はあるか。

教育振興課 「無償化」を行うにあたり、現在はコロナ対策給付金を財源として取り組んでおり年間5、000万円弱の予算が必要であるため給付金等の財源が確保できないと町単独事業として負担継続していくには大変厳しいと思われる。

藤川 一度無償化したものを元に戻すとすると保護者の負担感が大きい。何らかの財源（財調基金も含めて）を確保して継続すべきである。本来は国の責任で一律無償化すべきと考える。

※その他「川辺川ダム問題」「求償裁判問題」についても質した。



学校給食は「食育」の一環では

県管理でも通行するのは町民だ!!

吉田 西地区の国道219号の植樹帯の繁茂対策、車道側は車の通行で穂先が切断されているが、歩道側は繁茂し歩行者、特に自動車の通行に支障があると聞く、要望できないか。

地域整備課 歩道幅の半分ほどまで広がっている、歩道利用者等に影響が出ている箇所については今後速やかに対応したいとの事。

吉田 町民の方々が被害に遭わないように県への要望をお願いしたい。



吉田 眞二 議員



事故が起きる前に

子育て世代支援

吉田 学校給食法で食材費を保護者負担と規定していることは承知している。臨時交付金活用で現在の無償化ができていても理解している。本町の子育て支援「錦町に住んでください・子育てをしてください」その二つとして、給食費の無償化を是非検討を。

「町の基幹産業」農業の振興

吉田 商工業の方々も厳しいことは重々分かっている、今回は葉タバコ共同乾燥組合への電気代、燃油代、酪農家、畜産農家へのさらなる支援について伺いたい。葉タバコ農家は後継者がいる割合が高い、肥料代の高騰もあるが、他の農産物に比べて乾燥に使用する電気、灯油の使用が多い農産物、共同乾燥組合を維持管理していくために自宅乾燥を控え、共同乾燥組合への持ち込みを進められていると聞く。作業員としての雇用もある。出来る限りの支援をお願いしたい。また畜産農家、酪農家も厳しい単価に悩んでおられる、報道では乳牛の子牛が千円で売れるか売れないか、牛乳を出荷しても経費を引かれて残らないと聞く。どのような支援が考えられるか。

農林振興課 国の経済対策は計画があると聞く。動向を見ながら、効果的な支援ができるよう準備していきたい。

吉田 今後も農業を続けていけるように国への要望を強くお願いしたい。

町長 畜産農家に対する要望だが、この議会が終わり次第、国に要望する、飼料価格の高騰、動力光熱費上昇分の激変緩和措置、種子代助成などの国産飼料等の生産拡大に対する整備の拡充等3点を要望する。

吉田 是非強く要望をお願いしたい。南部農道、寺村地区、のり面のモルタル吹付けが出来ないか。

農林振興課 フェンス設置とのり面復旧を計画している。モルタル吹付けを行えば雑草対策などの後の維持管理に手がかからないが、財源の関係もありますので、今後の検討課題とさせていただきます。

道の駅裏の耕作放棄地の利用について



池田 秀晴 議員

池田 道の駅裏の農地が耕作放棄地の常態化になっているが、農地全体の面積と耕作面積及び耕作放棄地の面積は。

農業委員会 道の駅東側部分について、約1.3ヘクタールのうち耕作地0.1ヘクタール、非農地判定している部分約1.2ヘクタール。また、北側部分については、1.7ヘクタール全て耕作されている。

池田 耕作者も高齢化になってきており、放棄地が年々増加されてきた場合、町での指導・対策を考えておられるか。

農林振興課 再生可能な農地については、所有者の意向調査を行い、意向に沿った利用調整を行うため、農地中間管理事業などを使った耕作再開を目指す。農地に復元するため物理的条件整備が困難なものに対しては国からの農地法運用通知に基づき、農業委員会による非農地判断を行っている。

池田 令和2年7月豪雨で発生した河川の土砂を利用して盛土を行い、避難所やキャンプ場などの公園化の考えは。

企画観光課 東側の公園敷地と農地の間に用排水路が走っており、くらんど公園については、現状のままの運用を続けていく方針だ。

町民の声より

池田 火災時の緊急放送は大まかな地区の放送で場所の特定さえも分らない状態だ。

総務課 火災時の緊急放送については、町民の方の避難や安全確保、消火活動などにより、道路通行も制限されることから、周知のための放送をしている。

池田 木上蔵城公園の散歩コースを造ってほしいとの要望があるが、外周の小段に設置してあるので新たに設置しないとのことだが。

企画観光課 公園の整備については、平成7年度に県が主体となって急傾斜地崩壊危険区域に指定され、

斜面整備事業」として計画され、急傾斜の持つ眺望や豊かな緑を、高齢者や子どもと地域住民の健康増進のために活用するとの定義となっている。



危険の伴うウォーキングコース小段!!

町長 あの一帯はグラウンドゴルフにも使われており、木上小学校とリンクして歩かれるようなやり方も一つと考えていいんじゃないかと思っている。今後、検討させていただきたい。

リフォーム補助金、
錦町プレミアム商品券の今後は

町道、国道の側溝悪臭対策は

大王原公園球磨村仮設住宅の今後は

竹田 錦町では、リフォーム補助金を平成25年から実施され平成30年で終了し、その後再スタートしたが、平成25年から現在までの補助金に対する件数、交付額は。

地域整備課 10年間の交付件数延べ、501件・交付額8327万円であり、総工事が経済効果額になると思うが、総工費6億6千万円程となっている。

竹田 大変な額であり、地域経済の活性化、住環境の整備並びに町内事

業所経営支援にも大変寄与している。また、錦町プレミアム商品券販売も、2年間で商品券発行総数3億1千196万円。このうち特券は、8千936万円と一般商品券も利用し、工事関係換金額1億1千万円、錦町プレミアム商品券の特券が有効利用されているが、今後、リフォーム補助金の継続は、また、20%付き錦町プレミアム商品券発行計画は。

地域整備課 地域経済の活性化に大きく寄与しているので、継続したいと考えている。

企画観光課 商工会より令和5年度事業に対する補助金要望の中に、20%のプレミアム商品券を1万冊、プレミアム分2千万円の要望されている。今なお物価高騰が継続し、事業者町民の皆様が影響を受けておられる状況を鑑みても、経済対策は必要であり事業を検討したい。

竹田 地域住民の方より悪臭がするという苦情があるが。

地域整備課 令和3年度に連絡を受け令和4年9月現地確認している、道路側溝の廃油から悪臭確認しているところである。

竹田 グリストラップ設置は義務ではないが、環境汚染問題であり、町内の飲食店に、指導、調査を願う。

住民福祉課 保健所と打ち合わせして助言、指導を計画したい。

竹田 令和5年度内に退去後は、錦町は仮設住宅をどうするのか。

地域整備課 令和6年度に県より錦町へ無償譲渡される予定。

竹田 今後、企業の住宅や移住体験型住宅や現在町営住宅があるが、建築から63年、48年経過しており町有住宅としての活用は。

地域整備課 譲渡後町所有の施設であり、町営住宅の方に対し、意向調査をしている。今後の利活用についても、町有住宅、誘致企業の住宅や体験住宅ということも考えられる。



竹田 農利人 議員



町道・国道側溝の悪臭



スポーツ行事、 このままでいいの



荒川 孝一 議員

いては出場できない分館があるなど、参加者の確保が苦慮される分館があることも事実であり、今後において見直しや廃止を含め検討していく必要があると考えている。

荒川 議会と区長会との意見交換会の場で申し上げたのだが、今後も分館によっては世帯数増が見込めないのであるのなら近隣分館で合同出場するのはいかがかと提言申し上げたら、出場できなかったある分館長は、前向きな返事もあった。担当としては。

教育振興課 今後においては、合同化は非常に有効な方法ではないかと考えている。

教育振興課 本町の体育行事、5つの競技を分館対抗行事として開催しており、長いもので67年経過している伝統ある大会となっている。が、一方、少子高齢化の中で、近年にお

荒川 分館同士どちらかが一緒にやりましょうと言いつ出すのは、難しいかもしれない。これを担当課が仲介役としてやる必要がある。

教育振興課 それは必要だろうと思っている。そういった方法でも出場できるという方向性であるならば、一向に問題はないと思っっているの、今後対応したい。



皆んな、熱くなれ！

やめるのは簡単、
だが復活は大変

荒川 分館の大会出場、そして応援と分館コミュニティが広がる。寂しいのは「うちには出とらん」という、いわば疎外感。せっかくだったら町民の皆さんが一つの大会で出場応援で盛り上がる。それが大事。選手が足りないのならば近隣分館で合同出場できる制度を、それを担当課で仲介してでも盛り上げる。教育長いかがですか。

教育長 地域コミュニティというのはとても大事だと考えている。その形成の一助となるような大会にできたらと思う。

荒川 やめることは簡単。簡単だがやめてしまったら復活が大変だと思う。続けるためにも、どういったことができるのか。錦町の皆さんが参加できて、笑顔になってできるような行事を続けるためにと提言をさせていただきます。

常任委員会報告

総務建設常任委員会

◎総務課

(行政係)

令和4年度は、豪雨被害の復旧・復興が進められる中、コロナ禍の状況に終息が見えはじめ、職員の負担も少しは軽減したものの、台風14号被害による球磨大橋の橋脚沈下等、新たな災害も発生した。引き続き令和5年度においても危機管理体制の整備及び職員不足の解消や労務管理の適正化に努められたい。

くま川鉄道に関し、補助金、経常損失分1千49万6千円、施設整備分537万7千円、災害復旧費分5千941万6千円と計上されているが、全線不通状況であった路線も肥後西村駅から湯前駅までの一部運行

が実現し、念願であった球磨川第4橋梁の下部工の工事が発注され、全線開通の目的が一日でも早くつくづくに願う。

(財政係)

一般会計当初予算額は60億4千982万7千円であり、骨格編成のため前年比12・7%減となっている。

歳入においては、地方交付税が、国に示された地方財政計画に基づき7千983万9千円増の18億1千983万9千円となっている。

歳出においては、公債費が5億861万7千円であり、令和2年7月豪雨災害復旧事業等の償還分開始のため10・5%の増加となっている。

地方債の発行に関しては、交付税措置率や償還年数を考慮し、将来世代との公平性を保ちつつ、引き続き財政の健全運営に取り組まれない。

(消防交通・管財係)

消防団員について、定数350人に対し、現在団員数276人、機能別消防団員数74人、女性団員数0人である。現役団員の昼間の職業等を考慮した時、有事の際の出動に困難を来すことから、令和4年度において、消防団員の報酬改定等の処遇改善を行った。引き続き団員の確保に努められたい。

◎企画観光課

(企画情報調整係)

ふるさと回帰推進事業について、地域おこし協力隊2名分の人件費が計上されているが、令和5年4月から1名の雇用を予定しているものの、現在不在となっている。これまでの隊員は、主にふるさと回帰事業に特化した業務を担当してきたが、今後においては、各課からの要望等調査した上で、例えば中学校部活動の社会体育移行業務を担当できる隊員等、幅広い視点を持たれ、2名の雇用に向け尽力されたい。

(地域振興係)

町立人吉海軍航空基地資料館と操業予定の木質バイオマス発電所及び食肉解体事業所と連携し、平和教育、環境問題等を複合的に学ぶ場を設定し、教育旅行の誘致と地域経済活性化を目指す事業のために、「コンパクトSDGsスタディプログラム」事業費1千942万6千円を計上しているが、今後の取り組み及び効果を期待する。

令和5年度より町立人吉海軍航空基地資料館の指定管理者に(一社)錦まち観光協会を指定し、年間委託料として2千600万円計上してある。

今後、協会の活力やノウハウを活用することで、経費の縮減や利用者のニーズに対応した、きめ細やかな質の高いサービスの提供と施設設置目的が達成できることを望む。

次ページの税務課報告に続く

◎ 税 務 課

町民税、固定資産税と軽自動車税、市町村たばこ税等、経済が厳しい中、予算が2千750万8千円増であるが、今後とも情報の収集、課税物件の精査を願う。

各年の併任徴収制は、大いに効果が出ているとのこと。県、併任市町村担当者との協議を重ねコロナ禍による税滞納が増えるという予想されるので、徴収体制の強化を図るなどの検討を願う。

◎ 地域整備課

土木費（災害復旧工事を含む）において、令和4年度は、16事業6億7千906万6千円を繰り越している。今後も職員にかなりの負担が予想されるので期間雇用として、OB職員等、経験者の任用や専門職の職員を新たに採用するなど必要ではないか。

（下水道特別会計・水道事業会計）

水道及び下水道の料金収入については、料金改定にも関わらず、給水人口等の減少によりいずれも前年度並の予算となっている。

水道事業会計においては、一般会計からの繰入金額が令和4年度より910万4千円増の1億163万2千円となった。この要因としては、有収水量確保のための漏水調査費、長期的に適正な資産管理、経営計画策定のためのアセットマネジメント策定費、電気料金高騰によるものであり、水道使用料値上げによる効果は一定程度見られたものの、依然として厳しい状況にあるので、安定的な経営のためにも加入率向上の努力を図りたい。

◎ 出 納 室

財政調整基金等の資金管理・運用について、今後も指定金融機関と信頼関係を保ちつつ、正確な情報収集に尽力され、迅速且つ適正な出納事務に努められたい。

◎ 議会事務局

タブレット端末導入事業に係る経費が予算化されている。執行部側に先駆けての導入となったが、行政サービスのデジタル化へ向けた柱の一つとして捉え、事前研修等を実施され円滑に導入できるよう努められたい。本事業は、ペーパーレス化による経費削減も見込めることから、総務課と連携のうえ確実に進められたい。

また、議員研修及び上京要望については、コロナ禍の中であった令和4年度に実施できたことを踏まえ、改選の年となる令和5年度においても、引き続き実現できることに期待する。

厚生文教経済常任委員会

◎ 住民福祉課

（住民係）

町民相談事業においては、各行政区からの要望等に適切に対応され、各課との連携を図られたい。結婚相談事業においては、新型コロナウイルス感染症の終息が見えてこないが感染対策を取りながら一組でも多くの成婚がなされるよう婚活事業に鋭意取り組まれたい。

また、結婚新生活支援事業補助金も計上されており、合わせて広報誌等を通じて周知をされるよう望む。マイナンバーカード申請・交付においては、申請率が80%を超えており、引き続き町民の理解を得ながら事務処理を進められたい。

（福祉係）

第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画策定委託料が計上さ



れているが、対象障がい者・障がい児の家族の希望や生活の全体像を充分に把握することはもとより、業者選定についても慎重に検討され、より良い計画書ができることを望む。

町慰霊祭の開催については、コロナ禍で3年間開催されていないが、5年度においては遺族会との連携を図り、また感染症対策に配慮し開催されることを望む。

(子育て支援係)

新規事業として、熊本県低所得の子育て世帯生活支援特別給付事業費が計上されている。給付については、対象世帯の把握には遺漏の無いように努められたい。また、経済的支援としての出産・子育て応援交付金事業においても、相談支援を行う健康増進課との緊密な連携のもとに事業を進められたい。

4年度からの継続事業として保育所等施設整備補助金が計上されている。一日でも早い完成を、そしてより良い環境下での保育業務を期待する。

(環境係)

ごみ収集事業において、収集車(パッカー車)が購入以来10年を超えており、修繕料も毎年計上されていることから、収集車を町で新規購入するのか或いは業者に委託するのか比較検討されるよう望む。

ミミズによる生ごみ処理量も年々増加しており、クリーンプラザへのごみの搬入も減少しており一定の効果認められる。更なる経費の節減を目指し、燃えるごみとして出す場合は、水切り等の徹底を呼び掛け、ごみの減量化に努められたい。

◎ 保険政策課

(保険・年金係)

国民健康保険事業では、健診受診率向上、重症化予防等の取組みについては、健康増進課と連携しながら、住民周知を行い事業の遂行に努められたい。

人間ドック助成については、令和4年から助成金が拡充され、令和5年は受診見込数130名に対し

111名の申請があり増加傾向である。健診は、疾病の早期発見、早期治療につながることを町民の方へ意識高揚を図られたい。

後期高齢者医療特別会計については、後期高齢者に対する訪問指導事業を通じ、健診の推進、健康状態の把握等により医療費の適正化に取り組みられたい。

(高齢者支援係)

老人福祉事業では、高齢者のみの世帯が増加している中、高齢者活動基盤となる老人クラブが減少傾向である。今後、会員の確保について検討されたい。

高齢者タクシー利用料助成事業は、利便性は向上しているが、住民税非課税世帯が対象となっているので、免許証返納者についても助成の検討を図られたい。

介護保険特別会計については、介護保険認定者の増加や介護給付費は上昇傾向であり、介護保険事業の取り組みが重要である。地域巡回型介護予防事業健診業務などにより、町

民への介護予防の呼びかけ、事業の遂行に努められたい。

◎ 健康増進課

感染症特別対策事業費(主に新型コロナウイルスワクチン接種事業費)においては、前年度同様の予算措置がなされている。まだ予算を許す状況ではないので引き続き取り組まれたい。

従来の町民の健康管理の向上業務だけではなく、健康寿命を延ばすフレイル予防対策、新生児聴覚検査業務補助など取り扱うべき業務も増えそうだが、赤ちゃんから高齢者まで伴走型支援を図られたい。

◎ 農林振興課

(農政係)

骨格予算の為、新規就農者支援などの担い手育成事業、主要作物振興、畜産振興等に係わる町単独の予算については、6月の肉付けにおいて十分な予算の確保を図られ、更なる充実を望む。

〔耕地・林務係〕

中山間地域直接支払い事業交付金や多面的機能支払交付金事業の活用については、地域活動や営農の継続等に対しての支援を行えるよう関係機関と連携し、計画性をもって事業を遂行され、持続可能な強い農業の構築に努められるよう望む。

令和2年7月の豪雨災害や台風14号で、森林には甚大な被害がある。林道など早期復旧を望むとともに、森林環境譲与税を活用した森林の多面的機能の維持、ライフラインの確保に努められたい。

有害鳥獣の被害も増加している。関係団体と連携を図り一層の捕獲に努められたい。

◎農業委員会

人・農地プランの実質化に向け取り組みをされてきたが、今回、担い手と兼業農家等多様な経営体を中心に地域計画を進め、農地の維持管理を

図るとされている。積極的な計画を望む。

農地の担い手を明確化させ、農地情報の提供や農地の売買、貸借を積極的に推進し、集積、集約を図られたい。

農業者の生活と老後の保障に向け、農業者年金の加入推進を望む。

◎教育振興課

〔学校教育係〕

学校教育関係においては、学力の向上が最重要課題であり、学年によって格差が出てきていることを十分に把握理解したうえで、保育園から小学校へ、小学校から中学校へと連携の強化を図り、それを補う組織として学校教育充実推進会議が設置されているので、その組織が十分機能を発揮し早い時期に小中学校ともに管内トップ級の学力優秀校に導かれることを強く望む。

一方、年々増加傾向にある不登校

児童生徒への対応については、心の教室相談事業（令和4年度相談件数1,230件）において個々の状況に応じた対応がとられているが、家庭・学校・地域・教育委員会が一体となり全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることが出来る環境づくりに努められたい。

新規事業である地域学校協働活動本部事業（県補助金45万7千円）は、子ども（学校単位）と地域連携で地域住民等の理解と協力を得て、地域資源を生かした授業づくりが進められるもので、このことは年々希薄化する地域住民との連帯感の向上にもつながるものと期待する。

〔社会教育係〕

ここ数年コロナ禍の影響で実施できなかつた、地域住民の親睦と融和を図る目的で開催される各種大会（分館対抗ソフトボール大会、バレーボール大会、グラウンドゴルフ大会、町民体育大会、駅伝大会）も

今年度においては実施予定であるので、所期の目的を達成するため是非実現されることを強く望む。

〔学校給食センター〕

学校給食費補助については、当面4月分から6月分の3ヶ月分を全額補助で予算措置されており、保護者の負担軽減を考慮すると好転と評価する。

6月の肉付け予算においても引き続き全額補助を期待するが、かなりの財源を要することは必至であるので十分検討をされ予算措置をされたい。

今年度から3年間の調理・配送業務委託業者が変更となるが、業務に当たっては従来と変わることなく、施設の衛生管理や調理員及び職員員の健康管理に努め、安心して安定的に供給できる給食センターであるよう環境整備に努められたい。

第18代 新議員決まる！

3月定例会・臨時会

一般質問一覧

一般質問

各委員会報告

議会構成



1番

2番

3番



4番

5番

6番



7番

8番

9番



10番

11番

12番

4月23日の一般選挙後、初めての臨時会が5月11日に開会。議長は、投票により荒川孝一氏が選出され、副議長は、指名推選により石松まゆ子氏が選出された。

また、各常任委員、議会運営委員を選任し、人吉球磨広域行政組合、人吉下球磨消防組合の両議員を指名推選により選任した。執行部からは監査委員の選任が上程され、議選監査委員に梶原誠二氏を同意した。

1番	谷口 一也 (59)	木上平川	1期目
2番	丸小野聖一 (55)	西上一丸	1期目
3番	梶原 誠二 (68)	木上野間	1期目
4番	早田 和彦 (59)	一武福島	2期目
5番	吉田 眞二 (58)	一武中原	2期目
6番	石松まゆ子 (71)	西上黒辺田野	2期目
7番	竹田農利人 (68)	西内門	2期目
8番	岡田 武志 (57)	西下大鶴	3期目
9番	池田 秀晴 (71)	木上平良	3期目
10番	金山 民幸 (76)	西久保	4期目
11番	高田 孝徳 (63)	一武中忠ヶ原	5期目
12番	荒川 孝一 (61)	一武上忠ヶ原	5期目

議会構成

議長：荒川 孝一

副議長：石松 まゆ子

(◎委員長 ○副委員長)

委員会名	委員		
議会運営委員会	◎岡田 武志 ○竹田 農利人	高田 孝徳 吉田 眞二	金山 民幸
総務建設常任委員会	◎吉田 眞二 ○丸小野 聖一	荒川 孝一 竹田 農利人	池田 秀晴 早田 和彦
厚生文教経済常任委員会	◎高田 孝徳 ○谷口 一也	金山 民幸 石松 まゆ子	岡田 武志 梶原 誠二
広報特別委員会	◎早田 和彦 ○丸小野 聖一	高田 孝徳 吉田 眞二	石松 まゆ子

議選監査委員：梶原 誠二

人吉球磨広域行政組合議員：早田 和彦 吉田 眞二

人吉下球磨消防組合議員：竹田 農利人

議長に荒川孝一氏 副議長に石松まゆ子氏を選出



石松まゆ子 副議長



荒川 孝一 議長

議長就任あいさつ

この度、議員各位の推挙を賜り、第31代錦町議会議長に就任致しました。誠に身に余る光栄とその重責をひしひしと感じているところです。

今後におきましては、さらに、町政・議会の発展のため、公平無私の立場を堅持し、誠心誠意つとめてまいりますとともに、近年、全国の議会では「議会のあり方」や「議員のなり手不足」等、その存在意義が大きく揺らいでいる状況にあることが課題となっており、その課題に対しましても、議員各位と意見を交換しながら取り組んでまいれる所存です。

最後になりましたが、町民の皆さまの幸せで豊かな暮らしを実現するために執行部と議会が両輪となって邁進することが肝要と思っておりますので、両者を繋ぐ「かすがい」となり、全力を尽くして参りますことをお誓い申し上げ、就任のご挨拶と致します。

副議長就任あいさつ

この度、議員各位の推挙を賜り、副議長に就任することとなりました。どうぞよろしくお願い致します。

皆さまの期待と負託に、身の引き締まる思いであります。今後におきましては、これまでと同様に決議機関としての議会がしっかりと機能していくために、議長を補佐しながら、円滑な議会運営を図るとともに町政発展のため、微力ながら、誠心誠意つとめてまいれる所存であります。

今後とも、議員各位、そして町民の皆さま方のご指導とご協力をお願い申し上げます、就任のご挨拶と致します。

議会のうごき

1月

- 4日 二十歳のつどい
- 6日 全員協議会
健康祈願祭（一武八幡宮）
- 11日 広報特別委員会
- 12日 定例郡議会議長会議
例月出納検査（～13日）
- 18日 広報特別委員会
- 21日 国営川辺川総合土地改良事業完工式
- 25日 広報特別委員会
- 26日 くま川鉄道第四橋梁復旧工事起工式

2月

- 1日 全員協議会
- 3日 令和5年第1回臨時会
- 5日 分館対抗駅伝大会
- 9日 定例郡議会議長会議
- 13日 意見交換会（錦町区長会）
- 14日 例月出納検査
- 17日 下球磨町村議会正副議長会及び球磨郡議会議長会合同研修会
- 19日 西瀬橋完成式
- 20日 全員協議会（人吉球磨観光地域づくり協議会事業説明）
- 22日 人吉下球磨消防組合議会定例会
熊本県町村議会議長会定期総会
- 24日 人吉球磨広域行政組合議会定例会
- 25日 にしき産業フェスタ
- 28日 議会運営委員会
全員協議会

3月

- 3日 定例郡議会議長会議
- 5日 錦中学校卒業証書授与式
- 7日 令和5年第1回定例会（～15日）
- 11日 にしきまちボランティアフェスティバル
- 12日 国道219号「錦町西交差点改良工事」報告会
- 15日 広報特別委員会
- 18日 3.18人吉航空基地空襲受難者慰霊祭
- 22日 例月出納検査（～23日）
- 23日 町内各小学校卒業証書授与式
消防団備品監査
- 26日 球磨大橋仮橋完成式
- 27日 人吉球磨広域行政組合議会定例会
- 28日 熊本県町村監査委員協議会定期総会及び研修会
- 30日 令和5年第2回臨時会

4月

- 3日 全員協議会
- 12日 広報特別委員会
- 13日 定例郡議会議長会議
- 16日 分館対抗親睦ソフトボール大会
- 19日 例月出納検査（～20日）
- 23日 錦町議会議員一般選挙
- 27日 議員懇談会

【広報特別委員会】

委員長	早田 和彦	委員	石松まゆ子
副委員長	丸小野聖一		高田孝徳
			吉田真二
		議長	荒川孝一